

令和元年度学校評価(年間評価)

前年度評価結果の概要
【成果】
○3回の校内研究授業や2回の互見授業を実施するとともに、月1回開催の教科主任会議での報告・討議をととして職員意識の高揚を図ることで、さらに職員全員が「授業改善」の工夫に取り組み、「分かる授業」の展開が進んだ。
○外部講師による講演会や校外登校指導、PTAや部活動生によるあいさつ運動や声かけ等とおして、「豊かな心」の育成を推進し、集会時の話を聞く態度や頭髮服装検査に改善が見られる。
○資格取得については、受験的に挑戦する姿勢ができてきた。また、ホームページの更新、学校だより(HIJU SO GOOD NEWS)の毎月発行等、「学校の今」を保護者や近隣中学校等に伝え、開かれた学校づくり及び入学試験の受験者数の確保に取り組みた。

学校教育目標
知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を実践し、一人一人の個性の伸長を図るとともに、豊かな人間性とグローバルな感覚を備え、国家や社会の発展に貢献する人材を育成する。
中期目標
主体的に学習に取り組む意欲と態度を身につけさせるとともに、確かな学力の定着を図る。
基本的生活習慣の確立に努めるとともに、健康でたくましく生き抜く力の育成を図る。
地域や家庭との絆を大切に、愛され信頼される学校づくりの推進を図る。
重点目標
①わかる授業の展開
②豊かな人間性の育成
③地域との連携

重点目標 達成(成果)指標 重点的取組 取組指標 PL SL 評価 自己評価結果 分析・考察 次年度の改善策 学校関係者評価
①わかる授業の展開
・ICT研修会を年3回企画し、HPの作成・更新方法、iPad・電子黒板等の操作方法について研修を実施し、情報発信に関する共通認識ができた。
・授業改善研究会は指導主事・指導教諭を招聘して、充実した研究会となった。全体会では、指導主事より「観点別評価」の取り組みについて情報共有することができた。報告書を作成し、参加できなかった先生に還元した。
・互見授業については、期間を長めに設定し、職員が必ず互見するように計画し「スキルアップタイム」互見授業間シート」を作成してもらい、参観しやすい体制を準備したが学校行事等あり、参観率は85%であった。

総合評価
【成果】
○指導主事・指導教諭を招聘し、全職員が参加した授業改善研究会を各学期1回計3回実施して、充実した研究会となった。
○外部講師による講演会、校外登校指導、PTAや部活動生・生徒会によるあいさつ運動を通して、「豊かな心」の育成を推進して、高校生らしい行動が見られるようになった。
○生徒の進路意識向上のため、資格取得を勧め、意欲的に挑戦する生徒が増加した。また、ホームページ等による本校の情報発信を行うことにより、保護者・近隣中学校・地域に対して、開かれた学校をアピールできた。